



## 北海道方面

### 右左府の殖民道路竣工近し

日高國右左府ウニヤツプ殖民道路は地方開發上最も重要なものとして、着々進捗に努め今春來沙流郡門別の増川組により鋭意進工中なりしが、既に八分通り竣功し、來る十一月三日頃開通する筈である。

### 雪籠季中に道路改修

#### 調査を進む

西山土木部長着任以來冬期雪籠中に於け

地方通信

る事業に關し擬議中なりしが、先づ第一着に道路改修の調査をなさしむることとし其結果高橋本廳技師を帶廣土木事務所、宗石技師を室蘭に、町田技師を函館に、永山技師を旭川に、高田技師を釧路に、相山技師を帶廣に、山口技師を蘭室に、叶技師を網走に、山岡技師を留萌にまた大島技師を函館より本廳に歸任せしめ、鹽塚札幌土木事務所技師と協調して、明春融雪勿々工事を進め得るやう調査せしむることになつた。

## 奥羽方面

### 總動員の道路愛護

青森縣北津輕郡の道路愛護デーは十月十四、十五の兩日施行したが、殆んど全村擧げて活動振りで、道路は見違へるようになり、縣からは土木管區員出張して巡視し種々の注意を與へた。當日整理した道路は縣道、村道の別なく一律に十分の手入を行つたのであるが、先づ飯詰上町、下町、下岩崎の三區に分け、上町方面は大久保助役、下町方面は中村分會長、下岩崎方面は其田消防小頭が主として監督の任にあたり各團體は車馬人夫等を夫々出動せしめ、見る／＼道路の土は小高く盛られ兩側に排水溝を穿つなど、遺憾なき手入れをした。この日處女會員は澤田、秋村の兩訓練に指揮せられて湯茶をくげり、勞働に疲れた人々の咽喉を潤うした。なほ小學校では幕四以上の兒童全部出動し、停車場に出役し、二百六十間の新道を見事に整理した。出役時間には半鐘や長内寺、大泉寺の鐘を鳴らして

村民一般に報じ緊張した總動員であつた。

### 萬石浦架橋は産業上緊要

金華山道路を鮎川港、萩濱、大原の各港を連絡して渡波町を基點とし、産業道路としての機能を完全に發揮せしめようとするには、萬石浦の架橋を速現するにあるが、同橋は最初木橋として約四萬圓で設計を見たが、將來の交通を慮り縣では鐵筋コンクリート橋に設計を變更し、工費九萬三千圓としてゐるが、これは架替でなく新橋であるため、縣下各地の架替橋があまりに多いので、勢ひこの新橋架設は橋梁費のあまつた豫算によつて行はれることになるから、明六年に於いては實現困難と見られてゐる。

### 白石大橋架替着手遅る

「白石大橋架替へ工事は何時始まるか」の聲は全町をあげて騒がれてゐる、曩に内務省の認可を得當局はをそくも八月中には着工の運びに至るであらうと言明し、失業

救済を標榜して労働者の登録までしたが、

俄然町會は、直通案なる路線を案出するに至り、こゝに問題は紛糾するに至つた。即ち阿元民對町會の對立となり、策動は益々激烈ならんとしてゐる有様である。大橋委員會は阿元民の反對に對して善處すると決議したのみでその方法實行は遅々としてすすんでゐない、町當局に對しては町會議員の辭職、當局者の引退等警告投書するもの益々多くなつて來たので、鈴木町長はほとゝ困却して居る。

### 仙臺鹽釜間道路鋪裝

#### 明年度着工

宮城縣明年度土木事業中三ヶ年繼續事業にかゝる橋梁架替へ百十萬圓の同年度支出額四十萬圓の外に、既定計畫にかゝる道路改良費四十一萬圓あるが、この内に仙臺道路四里八間の鋪裝施工計畫がある。本道路は最近自動車の交通頻繁を極め、毎年度二萬圓前後の修繕費を支出してゐるが、

これを鋪裝すれば七八千で済む見込みである。本道路は四間幅であるが、鋪裝施工は中央二間半に止める計畫で、セメントが下落したため工費は十二萬餘圓で出来る計算、

橋梁架替へこの鋪裝工事は明年度事業中の大事業である。

### 北陸方面

#### 昭和橋の工事進む

新潟縣會議事堂裏から、烏屋野村下所島間に架設される昭和橋は去る八月三日總工費九萬四千七十一圓で起工され、以來、着々工事を進めてゐる、本橋は總間數百六十八間内百五十間が木橋、十八間が鐵筋コンクリートで、明年五月頃竣工の豫定である。

#### 藏王橋架設問題

新潟縣長岡市神田、藏王、新町方面は云ふまでもなく、古志郡川西方面、三島郡方面の人士が目下渡船にて千人乃至二千人も

日々交通ある藏王渡場の架橋問題は、一昨年既に可決され、地元寄附金まで納入され居れど、未だ實現しない。然るに當時二十四萬圓位の豫算であつたが、今日では物價及び労働賃金の下落で、現在では十五六萬圓もあれば間に合ふとの事で、此の點は頗る助かつた譯であるが、愈々縣明年度豫算編成前に直面し居ることなれば、關係町村民はこれが促進を期すため、近く縣に陳情する筈である。

### 道路損償負擔金を

#### 自動車から徴收

新潟縣の道路改修費は三十八萬圓に達し逐年増加の趨勢にあるので、昭和六年度豫算編成に當り、歳入難の結果、自動車に對する道路損償負擔金を徴收する模様であるが、縣が新たに損償負擔條例を設定しても、會社側に反對はないものと見られてゐる。縣庶務課では右條例を研究調査中であるが、大體道路修繕費の五分の一見當である、五

分の一とすれば内務省の許可は確實なるべく既に山形、栃木、福井、長野、山口、愛媛、群馬、静岡、廣島の諸縣は實施して居るので縣は修繕に三十八萬圓の五分の一即ち七萬圓程度を徴收するであらう。

#### 種芋原小出線盛大な起工式

新潟縣北魚沼郡廣瀨村字小平尾から古志郡種芋原村を連絡する、縣道種芋原小出線の起工式は、十月五日午後四時から種芋原小學校で舉行したが、代議士佐藤謙之輔、縣會議員櫻井眞吾氏を始め、櫻井廣瀨村助役其他地元村民約三百五十名參列したが、先づ村長坂收六兵氏の式辭あり、次で佐藤代議士、櫻井縣會議員、岩田縣技手、坂收善辰其他諸氏の祝辭あり坂收村長の閉式の辭にて式を閉ち、夫より重立有志四十餘名は來賓一同を招待し盛大なる宴を張つた。

#### 危険な清津川橋

新潟縣中魚沼郡清津川橋は、昭和六年度

に架替へる豫定で、當座の補強工事中、先般の出水に遭ひ、一たまりもなく橋脚よるめいて、却て警戒しなかつた中央部が三尺も下り、危険は刻々に迫り、自動車は客荷物とも下して通つてゐるが、昨今、見張二人をして晝夜警戒させてゐる程である、縣は其後本工事開始前に、當分別に假橋を架けるか、それとも現在のものを補強工事により使用するか、未だ決せぬものの如くである。

### 關東方面

#### 三國峠を改修して

#### 交通連絡を誓ふ

新潟縣と群馬縣と表裏日本の交通を完ふするには三國峠を改修して兩縣間を自動車により連絡するを第一策とし、新潟縣會議員南雲清太郎、同梅田英太郎、八木宗三、野澤六郎、平井初次、關久治、高橋勝一郎、富澤直次郎、岡村信次の諸氏は三國峠の實

地視察を兼ね長驅して群馬縣に入り群馬縣會議員佐藤重松氏始め土田國太郎、新治村長、澤口萬五郎、林庸太郎、北沼田町長等と相會し俱に其の緊要なるを認め兩縣協力して實現を計るに決し、今期縣會には兩縣共それ〴〵建議して實測等は地方有志も出動し其の達成の促進を期することゝなつた。

## 東 海 方 面

### 一宮西部道路工事着手

愛知縣一宮市第二小學校前から兩郷寺郷中縣道に滴する下沼線東部（兩郷寺から大江川まで）は開通してゐるが、西部（第二小學校から大江川まで）七十間が未完成で本年度に開通することになつてゐるが、一宮市土木部では西部の開通工事に先立ち、幅二間延長十間の橋を九百五十圓にて架橋することになり、近日中に着工する事になつた。

### 電柱に道路占用料賦課

名古屋市では道路占用料歳入減補填の一策として廣告電柱及び市電の同電柱の廣告主に對し占用料を徴收すべく、かたて調査中のところいよ〴〵完了し本年度から電柱一本につき五十錢を賦課するとに決定した。右廣告電柱及び電氣局の電柱は約八千本で四千圓内外の増收をみることになつた。なほ各店舗の日覆及び劇場活動常設館等におけるのぼり等に對しても同様道路占用料を賦課すべく近く調査を始めるはずである。

## 關 西 方 面

### 枚方大橋竣工式

工費六十一萬千八百餘圓、延長六町十二間五尺にわたる大阪府北河内郡枚方町大橋竣工式は十月十日午前十時同町伊加賀の同橋橋詰で舉行した。修祓、降神、獻饌の後齋主の祝詞ならびに玉串の奉奠あり、つい

で知事代理澁江大阪府土木部長、薄府會議長田中工事主任等各方面の祝辭があつて、勝田代議士、磯村大冠村長など玉串奉奠、同十一時廿五分閉式、ついで枚方高槻兩小學兒童千八百名、來賓三百名の渡初めがあり、終つて同橋詰の廣場で盛大な祝賀宴を張つた。

### 自動車専用道路計畫

自動車専用道路が兵庫の三木町を中心として計畫されてゐる、名稱は兵庫自動車道株式會社、假事務所は美嚨郡細川村中里一七九番地山本賢治氏宅に置き、目的として自動車専用道路を新設し旅客、貨物自動車の運轉及び一般自動車の通行料取得並に住宅地、遊園地の經營とし

事業經營としては之を第一期第二期に分ち、第一期は神戸市電須磨終點より垂水町、伊川谷、櫛谷、押部谷、神出前所を経て三木へ通ずる道路で全長二萬二千六百四十四メートル、第二期は三木町より小

野町社町を経て西脇に至る幹線と小野町より分岐して北條町に通ずる支線を新設し、第一期百萬圓、第二期三百萬圓の株式會社として事業を遂行する豫定である設計は道路の幅員、五、四メートル。道路中に〇、三メートルのコンクリートを以つて四條の軌條を造り他の路面は砂利を以て軌條と平均の高さにする、第一期營業開始までに資金五十萬圓を要し一キロ

當り二萬二千圓の工費豫定で發起人は三木町を始め加東、加西兩郡及び神戸方面に及んで居る縣當局の許可あり次第着工を期してゐる。

### 六甲山登攀乗合自動車

近代自動車の機構的完璧と云ふ目標に向つて自動車製作技術が如何に素晴らしい躍進を遂げたかの實例は毎日六甲山登攀の自動車道路に於てこれを目撃する事が出来る。

六甲山は海拔九百三十二米を有する關西地方有数の高峰で、山頂に立つて俯瞰すれ

ば廣漠たる攝津平野と繪の如き茅渚の海は一望の下に展開し、遙に紀淡の連峰を雲間に望む雄大なる風光は正に天下の絶景である。加之、山頂附近には多數内外人の山莊の外に立派なゴルフ、リンク及び近代式ホテルの設もあつて有名な避暑地となつてゐる。

この山には兵庫縣當局の建設したる幅員十八呎の立派な表裏二筋の登攀道路がある。表道路は同山の南側にあつて阪急沿線六甲停留所と山頂とを連結させ毎日多數の乗客を運んで居る。

## 中國方面

### 明姫國道の遠成運動

二號國道神戸、明石間の改修工事殆ど竣成を告げ、次で明石姫路間の改修を必要とするのであるが、緊縮内閣のために未だ當局に於て調査にも着手せず沿道明石、加古、印南、飾磨四郡町村に於てもこれが着手の

急を訴へつつあるが、九月三十日午前十時から加古川町役場で右沿道四郡十四ヶ町村長が會合し、輿論を議題として協議の結果、右町村長一同は陳情書を携へ四郡縣會議員と共に十月四日午前九時縣廳に出頭し、明姫國道改修工事實現のため知事以下關係當局に陳情すべく申合せ陳情文の起草は小山加古川町長に一任した。

### 町民の寄附で新橋架設

廣島市の天満川下流天満橋と觀音橋の中間に新橋を架設する案は、曩に廣島市會で決議されたが財源がないので延期されて居た所、今回地元の觀音、船入兩町民から此工費を寄附する旨申出たので、市では近く市會に諮り著工することになった。

### 小郡、宇部間道路改修促進

小郡、宇部間縣道改修工事は昨年度來西岐波村末波までを完成したが、その後工事中止の形となり全く放任された感あるは、

その目的に副はざるものとなし、宇部市では西岐波村と交渉を重ね愈々過日縣知事宛道路改修に關する請願書を提出した。

請願書

宇部市地内府縣道小郡宇部線道路改修實施に關しては曩年御調査を遂げられ宇部田の鐵道路切の關係上行惱み中に有之哉に關及候處既に西岐波村床波までは完成せんとするに際し以西の御施行遷延するに於ては折角の改良もその効果甚だ鮮少なるものと思料仕候由來小郡以南沿海町村より宇部市に供給せる物資は主として府縣道に據りて輸送せる情勢に有之今や小郡床波間は坦々たる大道の實現を見るに至り府縣道の面目亦一新し従つて物資の輸送能力の益々増大しつつある機に於て目的地たる宇部市地内に亘る實施が遲延せる場合は前記の通り其効果極めて少く所謂隔靴搔痒の感なきにあらず依つて地方民は一日も早く開通致すことを熟望して止まざる次第に有之候然る處宇部市

地内は都市計畫の道路網の決定と相關聯せる儀にも有之候へば該計畫を御進捗相成ると同時にせめて大字冲宇部字則貞迄は計畫線の動かざるものと被存候條該區間だけなりとも至急御着手相成候様切望に不堪而して之が完否は地方産業進展上大影響を來すべきに付縣民の福利増進を圖る御趣旨の下に特に御考慮相仰度茲に及請願候也

宇部市長 國吉 信義  
西岐波村長 加藤 一郎

四國方面

町村道路の縣移管要望續出

町村財政の窮迫と交通の發達から來る町村道の維持修繕費の増嵩に堪へないため町村道を縣道に移管し維持修繕費なりとも免れんとする町村は年を逐ふて増加し、各縣共縣會の開會都度關係議員より要望續出の状態であるが、本年の如き町村財政の逼迫

益々甚だしいため縣移管請願續出し縣吏員は日々之等に關する陳情員のため忙殺されてゐるが、現在此種請願書の提出されてゐるものゝみても四縣共二拾餘件に上つて居りこれが移管道路の延長は實に百哩を突破せんとしてゐるが、町村道の整理移管は大正十四年郡制廢止の當時一部處分したが其後自動車の發達に伴ふ交通系統の變遷並びに鐵道の開通に依る新設驛との連絡等により町村道の整理改修を必要とするもの少くないのを認めてこれが調査研究を重ねてゐたが、町村の移管要望の路線中移管手續だけにて新に改修の必要がない路線もあり殊に開通停車場道路各町村に於て自發的に相當改修費を投じて完全な道路となして居るものも多いので、縣としては財政窮乏の際ではあるが之等の路線は移管後の維持修繕費を支出すれば足るを以て、なるべく町村の希望に副ふ意向で調査を進めてゐる。

那賀川の鐵線橋  
『出合橋』竣功式

徳島縣那賀川の河口を溯る約十四里（徳島から自動車で四時間半）の地點は有名な

木頭の入口で、西は土佐國境、北は劔山を盟主とする麻檢、美馬二郡の山分と共に阿

波の奥地に位する大森林地帯である。中木頭の平谷から下流へは前年繼續事業として

道路の改修を了し、自動車を通ずるに至つたが、此間那賀本流と支流の合する處、即ち架橋地點に於て交通は中斷せられて居つたものが今日出合橋の竣工によつて、完全に連絡せられた。山分三萬七千町歩天與の山産物は茲に閉され勝ちの賣庫から搬出の扉を開かれ交通の安易は開通を一劃期として更生の木頭村を現出するであらう。橋の概要は左の通りである。

鋼材扶構吊橋 長二六四呎 一連

幅 一二呎

ステイフニングトラス徑間二六〇呎 高 六呎

橋臺 左岸 高 二六尺、幅二五尺 玉石混凝土

右岸 高 二一尺、幅二五尺

塔柱 鐵筋混凝土 高 二八尺

索條 圓六吋 十九本線六ッ撚 六本

工費 三九、四六一圓

橋梁工事費 三四、七八〇圓

同日盛大なる開通式を舉行した。

### 土釜橋開通式

徳島縣美馬郡一宇村の貞光川、それは劔山の北に源を發する七里の急湍である、省

線貞光驛から自動車にて三里半、府縣道木屋平貞光線が川を横きる個所が即本縣屈指の名勝「土釜」である。自動車は此處から尙四里の上流まで通じて居るが、路線は殆んど懸崖を辿つて、かの祖谷溪、劔峽に次ぐ奇勝が多い。一字の山産物運輸、及交通

は此要衝に於て從來木橋方擬橋に委して居つたが此度二鉸式鋼拱橋を完成して地方開發の使命を果たすこととなつた。

湍上十六間の巖頭に虹と懸る白虹に乗つて土釜の奇勝を滿喫するは他に比類があるまい。

九月二十六日開通式を舉行したが、工事中は木橋吊橋の剛を以つて自動車交通其他に支障なからしめた。

工事の概略は

二鉸式鋼拱橋、橋長七六呎六吋、有効徑間六六呎幅員一七呎、(有効一五呎)橋面より低水敷迄八〇呎、橋面鋪裝混凝土、

鐵材三八米噸、工費一萬二千六百十三圓

本年二月十二日着手、八月三十日竣工

尙以序土釜の舊記を左に紹介する。

阿波志云、土釜潭、在猿飼名南一宇川至此倒懸、穿爲大淵、怪巖之間、白波騰涌

瀾三十步許、名曰一釜、其北石穴正圓、吐水出之、深潭承之、名曰二釜、瀾四步許、其北又有澄潭、名曰三釜、此間兩畔

高崖、倒影其中、聲殷々如雷

## 九州方面

### 福岡縣下の道路工事

#### 進捗狀況

福岡縣下の國道工事の進捗狀況を見るに國道に於ては昭和二年開始十ヶ年總工費八百萬圓の計畫で、國庫から總經費の二分の一を支出するが、現在では三號國道（小倉か大分に至る）の刈田迄を五工區に分ち、本年中に刈田迄終了の豫定で、着々工事を進め二號國道（門司より鹿兒島に至る）は本月中に海老津に至り、本年中に筑紫郡筑紫村迄進行したいと云つてゐる。この國道に屬する名島橋は、既に三年計畫、經費三八萬圓で、工事を進めてゐる。次に縣道では昭和三年に三千萬圓十ヶ年計畫で開始、總數八十六線、延長七十二萬五千七百三十三米であるが、既に完成済みのものは西新町より脇山村に至るもののみで、進行中のもの

のは二十七ヶ所二萬七千五百十米、九月現在では全計畫の百分の八だけ進行してゐる事になる。而して右の工事は今迄の所では計畫通り行はれて来たが、緊縮の際ではあり幾分遅れる事になりはしないかとあやぶまれてゐる。

#### 戸畑市明治町縣道改修案

戸畑市の明治町縣道更正問題は市の事業として、失業救濟事業として、遂行するに内定市會を開いて決議の上先づ事業の關係を認定し、新設に引續き工事費の起債並びに勞銀に對する國庫補助の申請をなす段取りで、吉川市長は市會直後に東後福岡縣都計官と同伴上京し、主務省方面の運動に當る筈であるが、茲に遂行上の第一難關である總工費四十五萬圓の捻出方法については、都市當局で最も頭を悩ました結果、槻田縣道擴張工事に於て縣道の一部（郡道筋）を

麻生通りに變更し、その工事費節約金五萬圓餘を既定縣費十五萬圓併せて縣費支出を

廿一萬圓に増し、沿道受益者の負擔四萬五千圓餘の見込みで、残り十九萬圓を市の負擔として市債によることとし、一方八幡市にならつて失業救濟事業に對する國庫の補助を申請して、この上幾分か市の負擔を軽減する方法を取ることゝなつた。この道路計劃は戸畑市が縣の明治町縣道改正案を利用して、電車市街線を実現すると共に鐵道線路が二分されてゐる市街地を高岸町鐵道交叉點が、立體交叉をなして踏切なしの交通路を設げんと計畫によつて、その實現の曉は若戸貨物船の改善と相俟つて自動車馬車等の運輸機關が、戸畑渡場から途中何等の障害なく戸畑市の中央を横斷して八幡市に連絡するもので、同市の發展は勿論であるが八幡若松を繋ぐ唯一の無障害交通路が開ける譯である。

#### 豆津橋改築起工式舉行

福岡佐賀兩縣を連絡する久留米市外筑後川の豆津橋改築起工式は先月三日午前十時



より同河畔で舉行した。

坂本福岡縣土木課長の開式の辭に次いで眞木水天宮社司外神官數名の修拔その他型の如く、眞木齋主の祝詞の後松本福岡、井上佐賀兩縣知事の繳入れ、坂本福岡、楠佐賀兩縣土木課長の抗打行事あつて、その他主なる參列者玉串を奉奠し、松本知事の式辭、坂本福岡縣土木課長の工事計畫報告ありて來賓林田野口兩縣會議長、縣會議員地元村長その他祝辭を述べ、楠佐賀縣土木課長の閉式辭にて、正午式を閉じたが福岡、佐賀兩縣よりの參列者約五十名にて、式後石野久留米市長は、重なる人々を同市荃香園に招待饗宴を催した。

### 大牟田市の縣道擴張問題

福岡縣山門郡から大牟田市に至る縣道中山内關係の東新町方面は交通頻繁で、現在の幅員三間では危険を感ずるため、大牟田市では早くより旭町の電車終點から東新町一丁目に出で、三池郡農會の東日出町に至

る約十六町の道路を六間幅に擴張すべく計畫中である。

### 青年の努力で竣成した 清水觀音堂道

福岡縣山門郡東山村本吉清水寺の自動車參道開設の東部青年團奉仕作業は、第一回の工事として九月九日より山川、東山、瀬高の各町村青年團の奉仕作業を繼續して來たが、客月二十八日を以て第一回目の工事を了した、山腹を縫ふ岩石樹木等種々工事の難所があつたが、熱烈なる青年の努力により大體清水寺山下迄一線の道路を通じ終つた。まだ自動車を通ずる迄には第二回の工事を進めねばならぬが、青年團員諸氏の意氣と努力と地方有志の援助により近く完成の豫定である。

### 芋抜川縣道擴張

久留米市芋抜川町通りの縣道擴張は、先般の問題再燃以來順調に運び、全町一致で

同町一丁目十字路角から七丁目まで現在幅員二間半乃至三間を六間に擴張し、簡易鋪裝とし鈴蘭燈を設けること、なり、工費約三十萬圓内譯道路擴張見積り十二萬圓、家屋移轉費十八萬圓の内用地は地元から無償で提供し、家屋約四百戸の移轉費の半額を縣の明年度豫算の補助に俟つべく、既に縣土木管區を通じて縣へ陳情してゐる。

### 山國橋架替検査

大分縣中津市外より福岡縣築上郡吉富に通ずる三號線山國橋架換に就ては今回内務省より岩澤、菊池兩技師出張實地を視察することになつたので福岡大分兩縣にては期日等を打合せ詳細説明することに協議した。